

疫病、青枯病、モザイク病複合抵抗性の ピーマン台木用新品種「台パワー」

ピーマンをはじめとするトウガラシ類の栽培では、疫病、青枯病およびモザイク病 (PMMoV) といった土壌病害の発生が問題となっています。これらの病害の防除には薬剤処理による土壌消毒が行われていますが、有効な薬剤である臭化メチルの使用が 2005 年には原則禁止されており、2013 年には例外的な使用も禁止される見込みです。このため、抵抗性台木への接ぎ木栽培が導入されつつありますが、これら 3 病害に対して強度の抵抗性を有する台木用品種はなく、その開発が喫緊の課題となっていました。(独)農研機構野菜茶業研究所では、ピーマン等を安定して栽培できるように、これらの 3 病害に強度の抵抗性を示す台木用新品種「台パワー」を開発しましたので、その概要について紹介いたします。

☆ 技術の概要

1. 開発した新品種「台パワー」は、青枯病抵抗性のピーマン在来品種「三重みどり」と疫病抵抗性のトウガラシ素材系統「SCM334」を交雑し、さらにモザイク病 (PMMoV) 抵抗性の「ベルマサリ」が自然交雑した個体から、個体選抜をくり返し、固定した系統です。
2. 「台パワー」は、既存台木用品種「ベルマサリ」よりも疫病および青枯病に対して強度の抵抗性を示し、また、モザイク病 (PMMoV (P_{1.2})) に抵抗性を示す L³ 遺伝子を有しています。
3. 「台パワー」の接ぎ木の難易は「ベルマサリ」と同程度に容易で、接ぎ木栽培時の収量は「ベルマサリ」台とほぼ同等です。また、「ベルマサリ」と比較し、第 1 分枝の節位が高く、草姿がやや立性です。果実は中長形のピーマン型で辛みはありませんが、果面に凹凸がありますので、青果向け穂木用品種としては向きません。



図 台パワーの草姿

☆ 活用面での留意点

1. 「台パワー」は、疫病および青枯病に強い抵抗性を示しますが、高温・高湿・高菌密度条件下では発病する可能性がありますので、土壌消毒法など他の防除法との併用が望ましいです。また、PMMoV (P_{1.2.3}) に対して抵抗性を示し

表 「台パワー」の疫病・青枯病抵抗性検定結果(%)
およびPMMoV抵抗性遺伝子の種類

品種・系統名	疫 病		青 枯 病		PMMoV抵抗性遺伝子
	発病株率	枯死株率	発病株率	枯死株率	
台パワー	4	0	0	0	L ³
ベルマサリ	45	36	100	0	L ³
肩車	0	0	100	100	—
スケッチC	7	7	100	100	—
ベルホマレ	100	19	100	100	—

ませんので、PMMoV (P_{1.2.3}) 発生地域では使用しないで下さい。

2. 詳しいことは、野菜茶業研究所野菜育種研究チーム (電話 059-268-4653) へお問い合わせください。
(日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 袴田 勝弘)